

一月十三日 問題用紙

国語

座 席 番 号
番

受 験 番 号
番
氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて9ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を記入してください。座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

『開花前線』の不思議とは？

北海道では、五月はじめのゴールデン・ウィークのころ、ウメとサクラがほぼいっしょに咲きます。ウメとサクラの開花の（共同演出）が楽しめる、北海道の観光がアピールされることもあります。そのような観光案内を目にすると、「なぜ、北海道では、ウメとサクラが同じころに咲くのだろうか」という素朴な「ふしぎ」が浮かびます。

サクラの開花前線もウメの開花前線も、暖かい地域から北上していきます。九州や四国の暖かい地域では、ウメの花は一月下旬に咲きはじめ、サクラの花は三月下旬に咲きはじめます。そのため、それらの地域では、ウメとサクラの開花の時期は約二カ月間離れています。

それに対し、関西地方では、ウメは二月中旬から咲きはじめ、サクラは三月下旬から四月上旬に咲きます。ですから、ウメとサクラの開花の時期は、約一カ月半離れています。関東地方では、ウメとサクラの開花の時期は、ほぼ一カ月少し離れています。暖かい九州や四国の場合と比べると、ウメとサクラの開花時期の差は少し縮まっています。

青森県や秋田県、北海道など寒い地方では、ウメの花は四月下旬に咲き、ほとんど間隔を置かずに、サクラが咲きはじめます。北海道では、五月の初旬に、ウメとサクラがいっしょに咲くこともあります。

九州から日本列島を北に行くほど、ウメとサクラの開花時期は接近してきます。この現象に対し、二つの可能性が考えられます。一つ目は、北に行くほど、サクラの開花が早まって、ウメの開花に追いつくことです。二つ目は、

II

です。

春に開花するウメは、サクラと同じように、ツボミを前年の秋までにつくります。そして、秋に、冬を越すための硬い芽である越冬芽えいとうがをつくり、その中にツボミを包み込みます。芽は冬の寒さを体感して目覚め、春の暖かさに反応して開花します。これは、サクラの場合と同じ性質です。ですから、ウメもサクラも、「春に暖かくなると、花を咲かせる」といわれます。

しかし、①ウメとサクラが暖かさに反応して花を咲かせる性質には、大きな違いがあるのです。そのため、ウメとサクラの開花前線の北上のしかたに違いが生じるのです。どのように違うのでしょうか。

なぜ、サクラは追いつけるのか？

九州では、ウメの花は一月下旬に咲き、サクラの花は三月下旬に咲きます。青森県や北海道では、ウメとサクラが同じころに咲きます。その原因を考えましょう。暖かい地域として鹿児島市、寒い地方として北海道の札幌市、その中間の地域として京都市を選び、ウメとサクラが花咲くころの平均気温を比較してみます。

鹿児島市では、ウメの花が咲きはじめる一月下旬の平均気温は六〜九度です。京都市や札幌市でも、ウメの花が咲くころの平均気温はほぼ六〜九度です。ということは、ウメの花は、鹿児島市、京都市、札幌市と北上しても、ほぼ同じ気温になると咲いていきます。ウメの花は、全国的に、ほぼ同じ気温で咲いているのです。ウメの開花前線は、暖かさが北上すると同じように北上しているのです。

それに対し、サクラの花が咲きはじめる三月下旬の平均気温は、鹿児島市で一三度前後、京都市で一〜一二度です。札幌市では、サクラの花が咲きはじめる四月下旬の平均気温は九〜一〇度です。

京都市でサクラの花が咲くときの気温は鹿児島市で咲くときの気温よりも低く、さらに、札幌市でサクラの花が咲くときの気温は、京都市よりも低いのです。北に行くほど、サクラが開花する時期の平均気温は低くなっているのです。

つまり、「春に暖かくなると、花を咲かせる」といわれますが、ウメは同じ温度で開花しているのです。ですから、ウメの開花が遅れて追いつかれるのではなく、サクラの開花前線がスピードをあげて追いついてくるのです。

サクラが開花する「暖かさ」は、北へ行くほど、低くなっているのです。ということは、「サクラの開花前線のスピードが、北上するほど速くなっている」ということであり、「サクラがウメの開花に追いついている」といえます。

「目覚めが良い」といわれるサクラでは、冬の寒さのきびしさは、花が咲くために必要な「暖かさ」に影響するのです。冬の寒さがきびしいほど、暖かさの程度が低くても、花が咲くということなのです。

ウメもサクラも、「春に暖かくなると咲く」といわれますが、ウメは開花する暖かさが全国で同じなのに対し、サクラは地方により違うのです。札幌市では、鹿児島市や京都市ほど気温が上がらなくても、サクラは開花するのです。

隔を置かずに、サクラの花は咲くのです。

「目覚めが良い」という現象の一つは、「寒さがきびしいほど、開花の準備が早くに整い、開花できる暖かい温度に出会うと、すぐに反応できる」ということです。もう一つの現象は、「開花できる「暖かさ」の程度に影響する」ということです。花が咲く「暖かさ」が、冬の寒さのきびしさによって変わるのです。「目覚めが良い」と、「暖かさ」の程度が低くても、花が咲くのです。

花は、いつせいに咲く！

ソメイヨシノの開花は、目をみはるような「はなやかさ」と形容されることがあります。冬の寒さを越えて暖かくなり、春の訪れを肌で感じる

と、私たちの心も明るくなってきます。その気持ちの[※]高揚が、そのように感じさせるのかもしれない。

B、ソメイヨシノの開花が「はなやか」なのは、私たちの気持ちのためだけではありません。②「なぜ、ソメイヨシノの開花は、「はなやか」なのかという「ふしぎ」が浮かびあがります。

その「ふしぎ」の一番の理由は、咲くときには、同じ地域や場所にある株の花がいつせいに咲くことです。ソメイヨシノは「春の花」の代表のよ

うにいわれますが、春の間、長く咲いているわけではありません。

春に咲くというよりは、月日を限定して咲く花です。春の暖かさによって花咲く時期は年ごとに多少ずれます。しかし、咲くときには、同じ地域や場所に育っている株の花がいつせいに咲きます。

「世の中は三日見ぬ間の桜かな」と、詠うたわれます。この歌は、「三日間気づかずにいたら、満開状態のサクラの花がいつせいにあつという間に散ってしまった」という意味です。だから、IIIを象徴するのに使われます。

しかし、もともとは、この歌は「世の中は三日見ぬ間に桜かな」であり、「三日間気づかずにいたら、サクラの花がいつせいに咲きはじめて、咲きそろっていた」という意味であるといわれます。

このように、ソメイヨシノだけでなく、多くのサクラは、咲きはじめると、あつという間に咲きそろってしまいます。私の住んでいる京都市では、遅い年や早い年がありますが、ソメイヨシノは、およそ四月はじめの小学校、中学校などの入学式のころに限定して、いつせいに花を咲かせます。

C、ソメイヨシノの花は、同じ地方では、すべての株が月日を定めて、いつせいに咲くのです。これが、サクラの開花が「はなやか」である、一つの大切な理由です。

(田中修著『植物はすごい 七不思議篇—知ってびっくり、緑の秘密—』〔中公新書〕より)

〔注〕

※1 高揚：精神・気分などをたかめること。また、たかまること。

問一 Iにあてはまる言葉として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

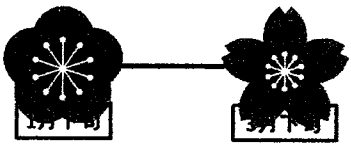

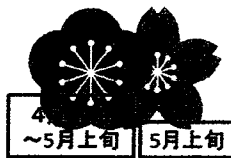
- ア. イマジネーション
- イ. コラボレーション
- ウ. シチュエーション
- エ. コンビネーション

問二 Ⅱ にあてはまる一文として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 北に行くほど、ウメの開花が遅れて、サクラの開花に追いつかれること
- イ. 北に行くほど、サクラの開花が遅れて、ウメの開花に追いつかれること
- ウ. 南に行くほど、ウメの開花が遅れて、サクラの開花に追いつかれること
- エ. 南に行くほど、サクラの開花が遅れて、ウメの開花に追いつかれること

問三 ー部①「ウメとサクラがく大きな違いがあるのです」とありますが、「大きな違い」とはどのような違いですか。五十字程度でわかりやすく説明しなさい。

問四 次の図は、「ウメ」と「サクラ」の開花時期の関係を表した図です。鹿児島・札幌の開花を表した図を参考に、京都の開花の様子を表す図を解答欄に書きなさい。(※図は、ウメとサクラの違いが分かるように書くこと。簡単な図でかまいません)

鹿児島	
京都	
札幌	

問五

A

C

 にあてはまる言葉として適切なものを次のア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア. でも イ. また ウ. そのため エ. そして オ. つまり

問六 Ⅰ部②「なぜ、ソメイヨシノのくなのか」という「ふしぎ」が浮かびあがります」とありますが、その理由としてふさわしい一文を探し、「くから」という言葉につながるように、四十字以内で抜き出して答えなさい。

問七

Ⅲ

 にあてはまる一文として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

また、なぜその答えを選んだのか、その理由を書きなさい。(字数制限はありません)

- ア. 日本の四季の美しさ
イ. 日本人のサクラを愛する気持ち
ウ. 世の中の移り変わりの激しさ
エ. 世の中の人の心の変化

問八 本文の内容として適切なものを次のア～キの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 北海道はサクラがウメよりも早く咲くため、不思議な光景を楽しめる観光地として有名である。
イ. サクラの開花前線とウメの開花前線は、暖かい地域から南下していく。
ウ. ウメとサクラの芽は冬の寒さを体感して目覚め、春の暖かさに反応して開花する。
エ. ウメは一定の時期を迎えると開花するのに対し、サクラは一定の気温になると開花するという特徴を持つ。
オ. 北に行くほどサクラが開花する時期の平均気温は低くなっているため、北海道でサクラが咲くときの気温は、京都市よりも低い。
カ. ソメイヨシノは、春の間ずっと咲いているので、「春の花」の代表とされている。
キ. ソメイヨシノの開花がはなやかに感じられるのは、サクラを愛好する日本人特有の心によるものである。

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 ——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 京都の神社を参拝する。
- ② 彼女の行動は見ていて危うい。
- ③ 夏休みに海浜公園に行った。
- ④ 君の話は矛盾だらけだ。
- ⑤ 友の鋭い意見に驚く。

問二 ——部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① キチヨウ品の管理に気をつける。
- ② 彼はヒハン的な考えの持ち主だ。
- ③ ウタガわしい行動を避ける。
- ④ 父はボウエキ会社の社長だ。
- ⑤ バーネットの『秘密のハナゾノ』を読む。

B 熟語に関する問題

問三 次の熟語は、ある語句の省略語です。(例)のように省略せずに、それぞれ書きなさい。

(例) 入試↓入学試験

- ① 就活
- ② 国連
- ③ エアコン
- ④ コンビニ

問四 次にあげる①～④の三字熟語と語句の構成が同じ語句を語群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ただし、あてはまる答えの数は同じではありません。

- ①衣食住 ②別世界 ③社会学 ④未公開

語群	ア. 慎重派	イ. 松竹梅	ウ. 初対面	エ. 近代化
	オ. 無条件	カ. 上中下	キ. 文学的	ク. 非常識

問五 二〇〇八年一月、大手出版社の岩波書店は、『広辞苑』の新版(第六版)を約十年ぶりに発売しました。この『広辞苑 第六版』には、一九九八年に発売された『広辞苑 第五版』には収録されていなかった新語が、約一万語追加されています。
次のA～Dは、全て『広辞苑 第六版』に新たに収録された語句の意味を抜き出したものです。()の中の指定に従って、A～Dそれぞれにあてはまる語句を答えなさい。

A (カタカナ3字)

職業に就かず、教育・職業訓練も受けていない若者。無業者。イギリスで生まれた語で、二〇〇四年ころから日本でも問題化。

B (漢字3字)

ある事態や問題についての認識・反応が、人・グループによって異なっているときの隔たり。

C (カタカナ3字)

ウェブサイトの一種。個人や数人のグループで運営される日記形式のもので、情報提供や意見交換などのコミュニケーション機能が付加されている。

D (アルファベット3字)

インターネット上の会員制サービス的一种。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にするための手段や、新たな人間関係を構築するための場を提供する。

以上で問題は終わりです